様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月19日

東京都知事　　殿

提出者

住　所　東京都新宿区四谷1-6-1 コモレ四谷・四谷タワー5階

氏　名　新菱冷熱工業株式会社 都市環境事業部

専務執行役員 事業部長　江木　毅

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3357-2210

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新菱冷熱工業株式会社 都市環境事業部
事業場の所在地	東京都新宿区四谷１−６−１コモレ四谷・四谷タワー５階
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D08 設備工事業
②事業の規模	１３９億円　（令和５年度元請完成工事高）
③従業員数	４０８人　（令和６年３月３１日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
排　　出　　量	6.77　t	1.72　t

（これまでに実施した取組）
１．廃棄物の分別
２．簡易梱包、梱包材の省略
３．工法改善（工場加工、ユニット工法等）
４．３Ｒ（ﾘﾃﾞｭｰｽ、ﾘﾕｰｽ、ﾘｻｲｸﾙ）の推進
５．有価物になり得るものを適正に判断し、有償売却を行い、産業廃棄物の
　排出量を抑制する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
排　　出　　量	6.09　t	1.55　t

（今後実施する予定の取組）
上記の取り組みを継続し、更に社員への周知、教育を徹底していく。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
１.分別可能な現場については、可能な限り全ての産業廃棄物の分別を実施する。
２.石綿含有産業廃棄物は他の産業廃棄物と分けて分別を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
これまでと同様に、可能な限り全ての産業廃棄物を分別して回収する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
排　　出　　量	2.55　t	14.92　t	217.53　t	2,108.92　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
排　　出　　量	2.30　t	13.43　t	195.78　t	1,898.03　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
排　　出　　量	306.15　t	113.66　t	27.38　t	11.15　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
排　　出　　量	275.54　t	102.29　t	24.64　t	10.04　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排　　出　　量	32.31　t	34.11　t	137.44　t	0.03　t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排　　出　　量	29.08　t	30.70　t	123.70　t	0.03　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	-	-	-
排　出　量	0.10　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	-	-	-
排　出　量	0.09　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
全処理委託量	6.77　t	1.72　t
優良認定処理業者への処理委託量	－　t	－　t
再生利用業者への処理委託量	－　t	－　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

１.委託基準を遵守し、産業廃棄物を適正に処理できる業者を選択している。

２.再生事業者登録をした業者に金属スクラップ等のリサイクル処理を委託し、
　産業廃棄物の減量化を図っている。

３.建設副産物の適正処理･リサイクルマニュアルを作成し､社内に周知している。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	2.55　t	14.92　t	217.53　t	2,108.92　t
優良認定処理業者への処理委託量	2.33　t	14.92　t	95.20　t	5.65　t
再生利用業者への処理委託量	0.20　t	1.02　t	112.53　t	31.64　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	306.15　t	113.66　t	27.38　t	11.15　t
優良認定処理業者への処理委託量	7.65　t	113.66　t	27.38　t	8.05　t
再生利用業者への処理委託量	105.15　t	113.66　t	27.38　t	－　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	32.31　t	34.11　t	137.44　t	0.03　t
優良認定処理業者への処理委託量	4.80　t	19.81　t	15.73　t	0.03　t
再生利用業者への処理委託量	4.80　t	20.91　t	28.11　t	0.03　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	17.31　t	13.20　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
全処理委託量	0.10　t	－　t	－　t	－　t
優良認定処理業者への処理委託量	0.10　t	－　t	－　t	－　t
再生利用業者への処理委託量	0.10　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>その他の汚泥</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>6.09　t</td><td>1.55　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
上記の取り組みを継続し、更に社員への周知、教育を徹底していく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	2.30 t	13.43 t	195.78 t	1,898.03 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.10 t	13.43 t	85.68 t	5.09 t
再生利用業者への処理委託量	0.18 t	0.92 t	101.28 t	28.48 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	275.54 t	102.29 t	24.64 t	10.04 t
優良認定処理業者への処理委託量	6.89 t	102.29 t	24.64 t	7.25 t
再生利用業者への処理委託量	94.64 t	102.29 t	24.64 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	29.08 t	30.70 t	123.70 t	0.03 t
優良認定処理業者への処理委託量	4.32 t	17.83 t	14.16 t	0.03 t
再生利用業者への処理委託量	4.32 t	18.82 t	25.30 t	0.03 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	15.58 t	11.88 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他産業廃棄物	－	－	－
全処理委託量	0.09 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	0.09 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	0.09 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

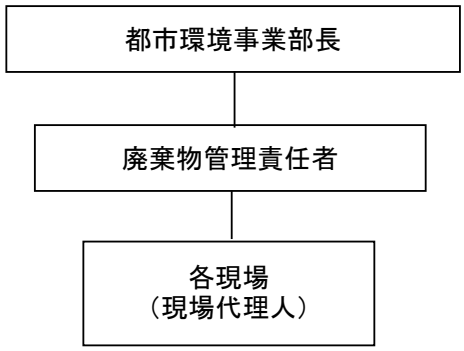
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

がれき類…再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化
廃プラスチック類…再生処理業者に委託して再資源化やサーマルリサイクルを実施
ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず…再生処理業者に委託して、セメント原料、再生砕石として再資源化、又はサーマルリサイクル
金属くず…委託業者から製鉄原料として売却
紙くず…製紙原料として再資源化またはサーマルリサイクル
木くず…製紙原料として再資源化またはサーマルリサイクル
廃油…再生処理業者に委託して再生原料として再資源化
建設系混合廃棄物…委託業者にて選別後、再資源化又はサーマルリサイクル
石綿含有産業廃棄物…飛散防止措置を行い二重こん包して、埋立て処分

別添２ 管理体制図



＜役割＞
・都市環境事業部長　…　都市環境事業部が総括管理する現場における産業廃棄物の適正処理の責任者
・廃棄物管理責任者　…　都市環境事業部内の廃棄物処理の管理、各現場への指導・教育
・現場代理人　　…　各現場における産業廃棄物処理の責任者（マニフェストの交付・管理）